

A faint, light gray world map is visible in the background, centered on the Atlantic Ocean. The map shows the continents of North America, South America, Europe, Africa, Asia, and Australia.

# *zLog* 令和Edition

## V2.9.1.8

# RELEASE NOTE

2024/10/29  
JR8PPG

# フィードバック時のお願い（ML参加者向け）

- 不具合は再現手順を具体的に連絡して下さい。
- 改善要望は具体的に「こう言う文言ならわかりやすい」とか「ここがこう言う操作なら使い勝手が良い」と案を出してもらえると助かります。
- フィードバックはzlog-reiwa@cq-test.netへ

zLog令和Edition 2.9.1.x

バージョン 2.9.0.6からの修正内容です。

※前回から変更のあったページは**UPDATE**の表記があります

# バージョン2.9.1.Xでの主な変更点

- 4RADIO対応
- リグコントロール関連
- Z-Server関連
- 不具合修正

#585

FT-847のCWモード設定をCW(N)にして欲しい (2.9.1.0)(2.9.1.6)

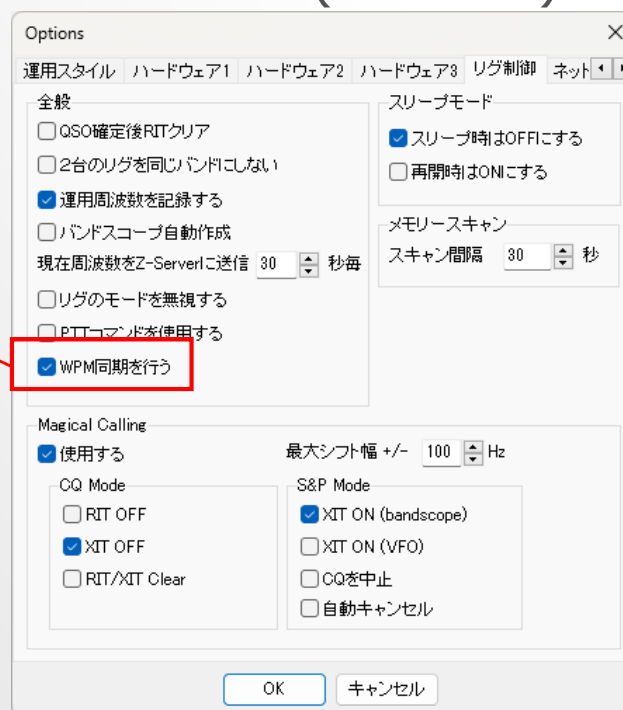
- CWにモード設定するとWideになってしまうので、Narrowにする様にコマンドパラメータを修正しました。
- FT-817の動作に支障が出ていることが判明したため手直ししました。(2.9.1.6)

## #586

### ICOM機でのWPM同期機能 (2.9.1.2)

- #557 でリグのWPMを設定するコマンドを追加しているが、ICOM機での検証が未完だったため、正常動作しなかったものを完成させました。
- 対応機種はIC-705,IC-7300,IC-7851,IC-905,IC-9700です。
- また、設定でリグとのWPM同期をON/OFFできるようにしました。
- IC-7100,IC-7610を追加しました。(2.9.1.2)

使わない場合はこの  
チェックをOFFにします



# BUG FIX

#588

ZAQに期間外の時間枠が出てしまう(2.9.1.0)

- タイムチャート（ZAQ）に期間外の時間枠が出ている不具合を修正しました。

Analyze

ZAF

ZAG

ZAA

ZAA(ALL)

<タイムチャート>

	20	21	22	23	00	0
1.9	-	-	1	13	6	1
3.5	-	-	23	32	39	
7	-	95	26	5	-	2
14	-	-	-	-	-	
21	-	-	2	-	-	
28	-	-	-	-	-	
50	-	-	-	-	-	
合計	0	95	52	50	45	4
累計			147			28

更新

☐ 得点0を除く

## BUG FIX

#590

### TABキー押下時の電文送信不具合(2.9.1.0)

- TABキー押下時の電文送信時に送信中フラグが解除されない不具合を修正しました。

#### 再現手順

1. SHIFT+Z/CTRL+ZでCQをかける
2. コール欄に「JR8.」と入力
3. TABキー押下 → JR8? と送信される (CWモニターがクリアされない)
4. SHIFT+Z/CTRL+Zを押してもCQが開始しない (不具合)
5. ESCキー押下 → CWモニターがクリアされる
6. SHIFT+Z/CTRL+ZでCQ開始



# BUG FIX

# #591

## ZADにマルチ49,50が残っている(2.9.1.0)

➤ マルチ49,50の残骸を削除しました。

## ＜マルチマップ＞

1111111111111111

000000000111110000000011111111122222222233333333344444444445

123456789012342345678901234567890123456789012345678901234567890

1.9.\*.\*.\*.....\*.\*\*\*\*\*.\*..\*..\*\*..\*.\*.\*..\*

3.5..\*. \*. \*. .... \*. \*\*\*\*\*. \*\*\*\*\*. \*. \*. \*\*\*\*\*. \*\*\*\*\*. \*. \*

7\*\*\*.\*\*\*\*\*.\*\*\*\*\*

14. \*\*\*\*. \*. . . . \*. \*. \*\*\*\*\*. \*\*\*\*\*. \*\*\*\*\*. . .

21. \* . \* . \* . \* . . . . . \*\* . . . . . \* . \* . \* . . . . . \*\*\*\*\* \*\* . . .

28. \* . \* ..... \*

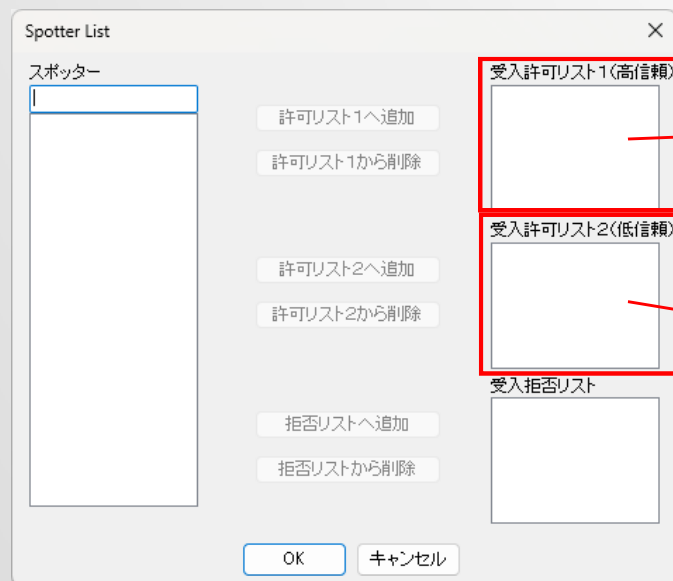
50. .... \*

## 残骸を削除

## #592

### スポッターによってスポットの色を変えたい(2.9.1.1)

- RBNのスポッターにより、自局でのスポットの信頼度（受信できるかどうか）が異なるため、高信頼と低信頼のスポッターに分けて登録しておき、それぞれ別の色で表示できるようにしました。
- 高信頼，低信頼共に空の場合は、全て高信頼になります。
- 高信頼，低信頼のどちらにも該当しないスポッターの場合は拒否されます。



#593

CSV出力項目にコールエリアを追加して欲しい(2.9.1.0)

➤ 運用地を表すコールエリアをエクスポートCSVに追加しました。

➤ 例)

JR8PPG --> 8

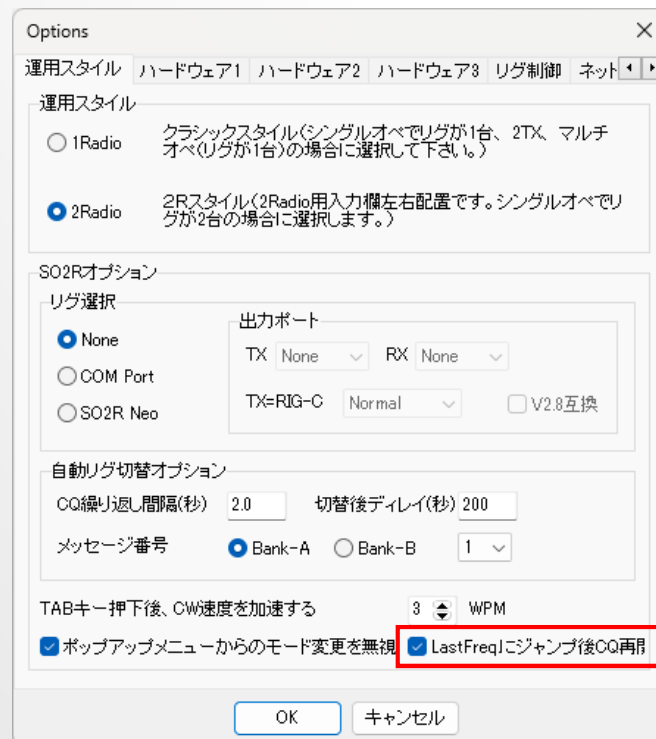
JR8PPG/1 --> 1

# BUG FIX

#595

最後の周波数へジャンプ時、CQを再開しなくて良い(2.9.1.0)

- 2BSIQ OFF時に、バンドスコープからS&Pしたあと、SHIFT+Jなどで最後の周波数へジャンプ時、CQを再開してしまう不具合を修正しました。
- CQ再開の有無を設定で変更できるようにしました。(2.9.1.3)



#597

JumpでCQ周波数に戻った際に入力欄をクリア(2.9.1.0)

- バンドスコープダブルクリックでQSY後、JumpでCQ周波数に戻った際にQSO入力欄をクリアする様に変更しました。

## BUG FIX

#598

運用設定画面を開いて[OK]を押すとTX#がクリアされる(2.9.1.0)

- 運用設定画面を開いて[OK]を押すと、zLog起動画面で設定したTX#がクリアされてTX#0になってしまう不具合を修正しました。

## BUG FIX

#599

CSV出力ファイルのタイトル行からForcedが漏れている(2.9.1.0)

- CSV出力ファイル 1 行目のタイトル行から“Forced”が漏れているため修正しました。
- …“QsyViolation”, “**Forced**”, “PCName”…となっている必要があるが、…QsyViolation”, “PCName”…となっている。
- 2 行目以降のデータ行は正しい。

## BUG FIX

#601

\$Cを含む電文にWPM変更があると2文字欠落する (2.9.1.0)

- F2など、\$Cを含む電文にWPM変更シーケンスがあると2文字欠落する不具合を修正しました。

- 例

¥+3\$C\_5NN¥-3\$X

この場合、¥+3JR8PPG\*\*\*\*\*\_5NN¥-3\$X と展開されるが、送信符号は ↑JR8PPGNN ↓106H となって、“\_5”の部分が欠落する。

- \$C\_5NN\$X は正しく送信される



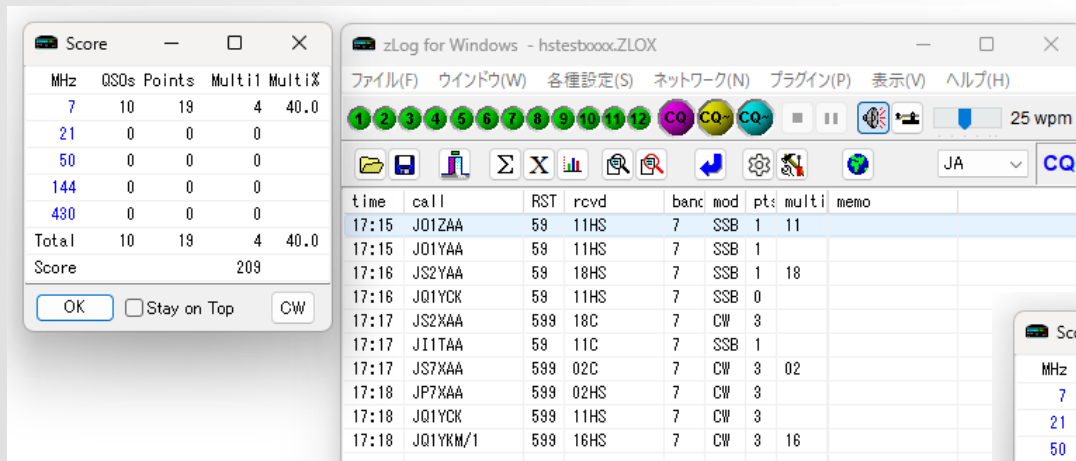
Improvement

# #602

## ユーザー定義コンテストでのマルチ 2 対応 (2.9.1.0)

- 高校コンテスト対応のため、ユーザー定義コンテストでマルチ 2 に対応しました。

Multi2なし



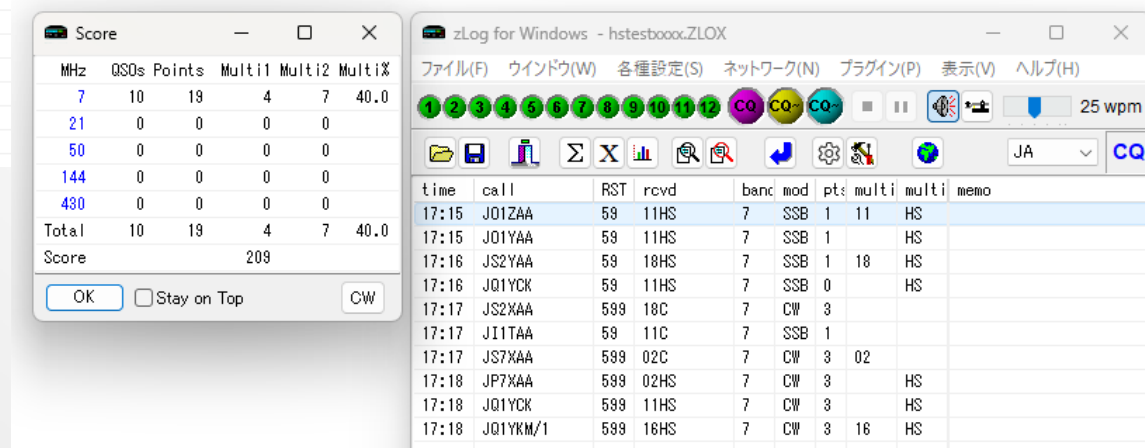
The screenshot shows the 'zLog for Windows - hstesboox.ZLOX' application window and a 'Score' dialog box. The 'Score' dialog box has columns for MHz, QSOs, Points, Multi1, and Multi%. The 'zLog' window has a menu bar (File, Window, Settings, Network, Plugins, View, Help) and a toolbar. The main table in 'zLog' has columns: time, call, RST, rcvd, band, mod, pts, multi, memo. The 'multi' column only shows values for Multi1.

MHz	QSOs	Points	Multi1	Multi%
7	10	19	4	40.0
21	0	0	0	
50	0	0	0	
144	0	0	0	
430	0	0	0	
Total	10	19	4	40.0
Score				209

time	call	RST	rcvd	band	mod	pts	multi	memo
17:15	J01ZAA	59	11HS	7	SSB	1	11	
17:15	J01YAA	59	11HS	7	SSB	1		
17:16	JS2YAA	59	18HS	7	SSB	1	18	
17:16	JQ1YCK	59	11HS	7	SSB	0		
17:17	JS2XAA	599	18C	7	CW	3		
17:17	J11TAA	59	11C	7	SSB	1		
17:17	JS7XAA	599	02C	7	CW	3	02	
17:18	JP7XAA	599	02HS	7	CW	3		
17:18	JQ1YCK	599	11HS	7	CW	3		
17:18	JQ1YKM/1	599	16HS	7	CW	3	16	

Multi2あり



The screenshot shows the 'zLog for Windows - hstesboox.ZLOX' application window and a 'Score' dialog box. The 'Score' dialog box has columns for MHz, QSOs, Points, Multi1, Multi2, and Multi%. The 'zLog' window has a menu bar (File, Window, Settings, Network, Plugins, View, Help) and a toolbar. The main table in 'zLog' has columns: time, call, RST, rcvd, band, mod, pts, multi, multi2, memo. The 'multi' and 'multi2' columns show values for both Multi1 and Multi2.

MHz	QSOs	Points	Multi1	Multi2	Multi%
7	10	19	4	7	40.0
21	0	0	0	0	
50	0	0	0	0	
144	0	0	0	0	
430	0	0	0	0	
Total	10	19	4	7	40.0
Score					209

time	call	RST	rcvd	band	mod	pts	multi	multi2	memo
17:15	J01ZAA	59	11HS	7	SSB	1	11	HS	
17:15	J01YAA	59	11HS	7	SSB	1		HS	
17:16	JS2YAA	59	18HS	7	SSB	1	18	HS	
17:16	JQ1YCK	59	11HS	7	SSB	0		HS	
17:17	JS2XAA	599	18C	7	CW	3			
17:17	J11TAA	59	11C	7	SSB	1			
17:17	JS7XAA	599	02C	7	CW	3	02		
17:18	JP7XAA	599	02HS	7	CW	3		HS	
17:18	JQ1YCK	599	11HS	7	CW	3		HS	
17:18	JQ1YKM/1	599	16HS	7	CW	3	16	HS	

## #603

### ADIFに出力時のコンテストナンバー格納フィールドの変更(2.9.1.2)

従来、受信コンテストナンバーは<qth>フィールドでしたが下記の様に変更しました。  
<srx\_string>が2重に出力される不具合を修正しました。(2.9.1.6)

#### ➤ 送信コンテストナンバー

- シリアルナンバー以外：<stx\_string>フィールド
- シリアルナンバー：<stx>フィールド

#### ➤ 受信コンテストナンバー

- シリアルナンバー以外：<srx\_string>フィールド
- シリアルナンバー：<srx>フィールド

#### ➤ コンテストID <contest\_id>

- 国内コンテスト：JA\_DOMESTIC
- DXコンテスト：Contest ID Enumerationで決められた物
- その他未定義や不明：出力なし

## BUG FIX

#604

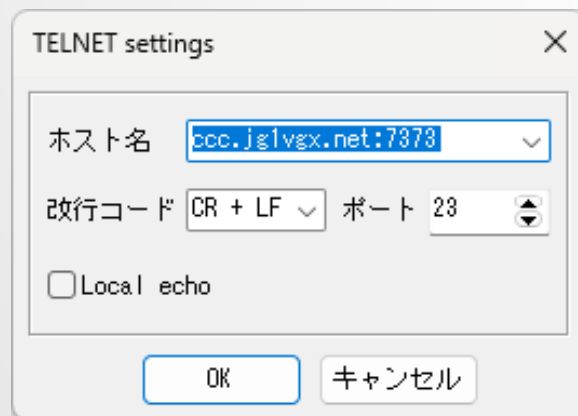
CTRL+TでのTUNEをESCキーで止められない(2.9.1.2)

- WinKeyer使用時、CTRL+TでのTUNEをESCキーで止められない不具合を修正しました。
- COMポート／USBIF4CWは問題ありません。

#609

## Z-Serverの接続先をリストに保存(2.9.1.3)

- Z-Server(Z-LINK)の接続先をリストに自動保存してほしい。
- ご提案通り、自動保存機能を追加しました。  
PacketClusterは"ClusterList.txt"、Z-LINKは"zlinklist.txt"ファイルに自動的に保存されます。



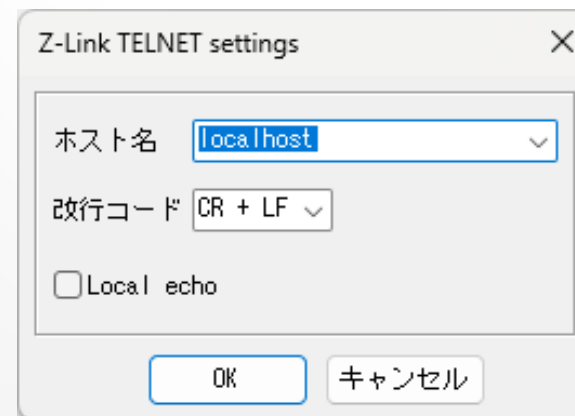
TELNET settings

ホスト名

改行コード  ポート

☐ Local echo

OK キャンセル



Z-Link TELNET settings

ホスト名

改行コード

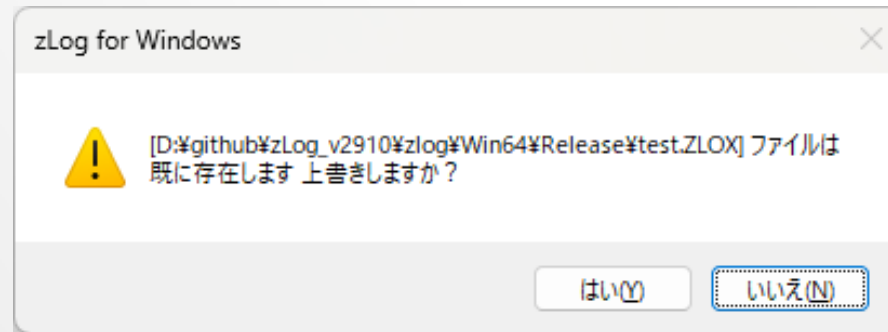
☐ Local echo

OK キャンセル

#610

上書き確認してほしい(2.9.1.3)

- 「ファイル(F)」－「名前を付けて保存(A)」にて、既存のファイルを選択するとオーバーライト確認が無くそのままセーブしてしまう。上書き確認してほしい。
- ご提案通り、上書き確認を追加しました。



# #611

### CFGEditにCQ2,CQ3を追加してほしい (2.9.1.3)

- CWAのCQ2/CQ3もf1a～f4aのようにCFGファイルで設定、取込みチェックを設けてほしい。  
原則、CQ2/CQ3はf1aのモディファイで各コンテスト個別になることが多いと思われます。
- ご提案通り、CQ2,CQ3を追加しました。

[illegible]

CFG Edit

NR

送信NR(\$X)

都道府県(\$V)

市郡(\$Q)

使用するバンド

☐ 1.9M ☐ 14M ☐ 28M ☐ 1.2G

☐ 3.5M ☐ 18M ☒ 50M ☐ 2.4G

☒ 7M ☒ 21M ☒ 144M ☐ 5.6G

☐ 10M ☐ 24M ☒ 430M ☐ 10G&up

OK

キャンセル

CW Message

f1\_a

f2\_a

f3\_a

f4\_a

CQ2

CQ3

Time

☐ UTCを使用する

☐ コンテスト期間を使用する

開始時

期間  時間

# Improvement

#612

\$V\$P\$Xの説明書きを追加してほしい(2.9.1.3)

- ご提案通り、対象項目のラベルに説明書きとして、\$V\$P\$Xを追加しました。

運用設定

各種設定 カテゴリ CW/RTTY ボイスメモリ その他 クイック機能 バ

カテゴリ

☒ Single-Op

☐ Multi-Op/Multi-TX

☐ Multi-Op/Single-TX

☐ Multi-Op/Two-TX

TX# 0

オペレーター

都道府県(\$V) 106

市郡(\$Q) 00103

CQ Zone(\$Z) 25

ITU Zone(\$I) 45

Sent(\$X) \$V\$P

送信電力(\$N)

H 1KW

M 100

L 10

P 5

追加 修正 削除

☒ 起動時、最後のOPを選択

☒ バンド変更時、電力符号を適用

OK キャンセル

CFG Edit

NR

送信NR(\$X) VVC

都道府県(\$V) 10

市郡(\$Q)

使用するバンド

☐ 1.9M ☐ 14M ☐ 28M ☐ 1.2G

☐ 3.5M ☐ 18M ☒ 50M ☐ 2.4G

☒ 7M ☒ 21M ☒ 144M ☐ 5.6G

☐ 10M ☐ 24M ☒ 430M ☐ 10G&up

OK

キャンセル

CW Message

f1\_a CQ HS TEST DE \$M \$M TEST

f2\_a \$C \$R\$VC

f3\_a TU \$M TEST

f4\_a NR?

CQ2 CQ TEST \$M

CQ3 \$M TEST

Time

☐ UTCを使用する

☐ コンテスト期間を使用する

開始時 21

期間 24 時間

## #614

### バンドスコープにJA局非表示オプションが欲しい (2.9.1.4)

- JAを表示, DXを表示のオプションとしました。





## BUG FIX

#615

WinKeyer使用時のPTTディレイが長い (2.9.1.4)

- WinKeyerのPTTディレイタイムの単位は10ミリ秒でした。
- 従って、画面で100と入力した場合、1000ミリ秒のディレイとなっていました。
- WinKeyerにパラメーターをセットする際に1/10する様に変更しましたので、ディレイタイムは入力した値の通りとなります。
- COMポート／USBIF4CWは問題ありません。

## #616

### キーボードでのPTT操作は設定に従うようにする(2.9.1.4)

- [無変換]キー、[¥]キーでのPTT操作はPTT制御有効がONの場合のみ可能としました。

CW/PTT制御

☒ PTT制御有効

送信前ディレイ(ms)  送信後ディレイ(ms)

ONの場合のみキー  
ボードで操作可能

## BUG FIX

#618

マルチOP時、OP別CWメッセージに切り替わらない(2.9.1.4)

- OP別にCWメッセージを設定していても 2 , 3 , 5 番がOP別の内容に変わらない。
- TABキー, DOWN(;)キー, Invalid Number時のメッセージはOPE別に切り替わらない様になっていたので修正しました。

#619

## エンティティ判定の改善(2.9.1.5)

- KB7G/KH6 が"K"と判定されるとのことでしたので、改善を行いました。
- また、CTY.DAT内の検索に時間がかかっているため、処理速度向上を行いました。

## BUG FIX

#622

DXコンテストで受信済みスポットがworked multiにならない(2.9.1.5)

- バンドスコープの受信済みスポットについてCountryやZoneによるnew multiの再判定を行っていないため、交信してもworked表示にならない件を修正しました。
- 新たに受信したスポットは判定を行っているためworked表示に変わります。

## BUG FIX

#626

### マルチウィンドウでの描画不具合(2.9.1.5)

- マルチウィンドウでニューマルチと交信しても赤くならないことがあるとの報告があった件について対策を行いました。
- どうやら開発ツールをバージョンアップしたための様です・・・

## #628

## 運用周波数ウィンドウの周波数表示桁数を拡張(2.9.1.6)

- 144M以上の場合、周波数表示桁数が足りないことが判明しましたので桁数を拡張します。
- また。144M以上ではkHz単位での表示でしたが、HF帯と同じように100Hz単位の表示としました。
- 右寄せにして見やすくしました。



## 表示イメージ

15	10G	10240000.0	SSB	SP	22:35:19	[PC3]
14	5600	5760000.0	SSB	SP	22:35:51	[PC3]
11	430	430250.0	SSB	SP	22:36:08	[PC3]
10	144	144050.0	SSB	SP	22:36:26	[PC3]
9	50	50200.0	SSB	SP	22:36:47	[PC3]
2	7	7060.0	SSB	SP	22:37:09	[PC3]

#633

## バンドスコープのNR照会要否を設定可能とする(2.9.1.6)

- PacketClusterからバンドスコープへスポット情報を入力する際に、SPC等を使ったマルチ照会の要否を設定可能としました。
- 他バンドQSOは常に照会します。
- 元々あった「レジューム機能を使う」は「バンドスコープ2」タブへ移動しました。

運用設定

OW/RTTY ボイスメモリ その他 クイック機能 バンドスコープ バンドスコ

使用するバンド

☐ 1.9 MHz ☒ 14 MHz ☒ 28 MHz ☐ 1200 MHz

☒ 3.5 MHz ☐ 18 MHz ☐ 50 MHz ☐ 2400 MHz

☒ 7 MHz ☒ 21 MHz ☐ 144 MHz ☐ 5600 MHz

☐ 10 MHz ☐ 24 MHz ☐ 430 MHz ☐ 10 G & up

☒ 全バンド ☒ 現在バンド ☐ ニューマルチ

情報表示色

交信済み TEXT Fore... ☒ Bold Reset

未交信マルチ TEXT Fore... ☒ Bold Reset

交信済みマルチ TEXT Fore... ☒ Bold Reset

その他 TEXT Fore... ☒ Bold Reset

バンドスコープオプション

☐ バンドプラン内のスポットのみ表示 ☒ 周波数より推定したモードを使う

☒ JAを表示 ☐ DXを表示 ☒ LSB/USBモード誤りを抑制

☒ マルチ照会を行う ☐ 周波数ずれを抑制

☐ Lookup Serverを使う ☒ SPOTにQSYする直前の周波数を記憶

OK キャンセル

設定追加

運用設定

ボイスメモリ その他 クイック機能 バンドスコープ バンドスコープ2

スポットソース別の色設定

Self Spot TEXT 背景色 リセット

Cluster TEXT 背景色 リセット

Z-Server G1 TEXT 背景色 リセット

G2 TEXT 背景色 リセット

G3 TEXT 背景色 リセット

その他の色設定

Lookup失敗 TEXT 背景色 リセット

現在バンド TEXT 背景色 リセット

低信頼のスポッター TEXT 背景色 リセット

スポットの新鮮度

☒ 残り時間1 (1/2,1/4,1/8,1/16 分)

☐ 残り時間2 (5,10,20,30 分)

☐ 残り時間3 (5段階)

☐ 経過時間 (5,10,20,30 分)

オプション2

☒ レジューム機能を使う

OK キャンセル

ここに移動



## #637 ITU Zone欄の拡張 (2.9.1.6)

- HQ局より“JARL”が入らないとの話があったため拡張しました。

運用設定

各種設定 カテゴリー CW/RTTY ボイスメモリ その他 クイック機能 バンド

カテゴリー

☐ Single-Op

☒ Multi-Op/Multi-TX

☐ Multi-Op/Single-TX

☐ Multi-Op/Two-TX

TX# 0

オペレーター

都道府県(\$V) 106

市郡(\$Q) 010103

CQ Zone(\$Z) 25

ITU Zone(\$I) JARL

Sent(\$X) \$Q\$P

送信電力(\$N)

H 1KW

M 100

L 10

P 5

追加 修正 削除

☒ 起動時、最後のOPを選択

☒ バンド変更時、電力符号を適用

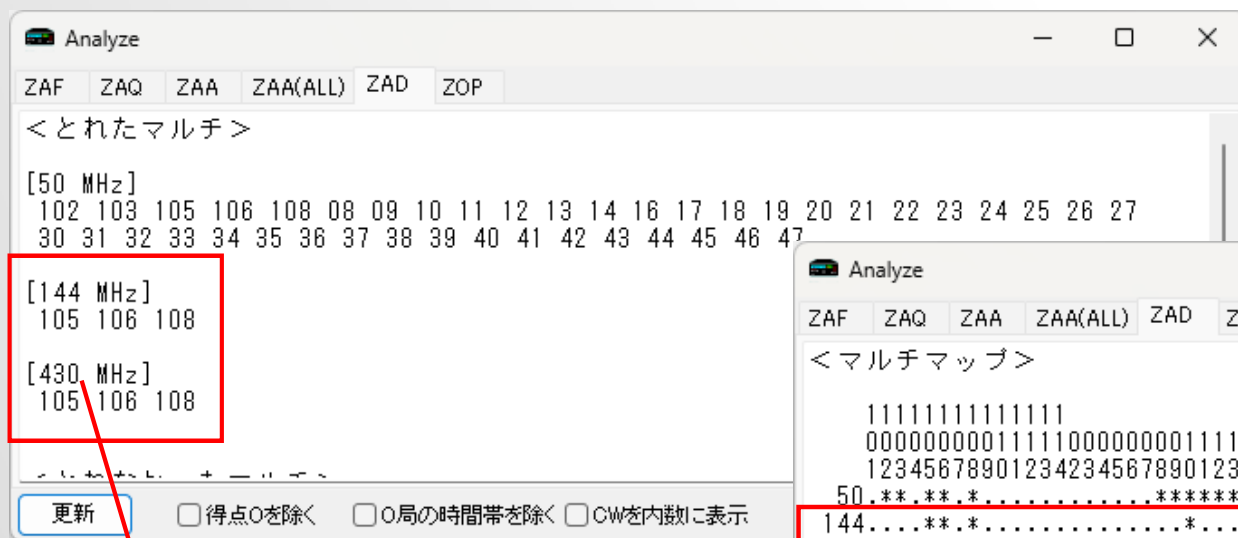
OK キャンセル

大きくした

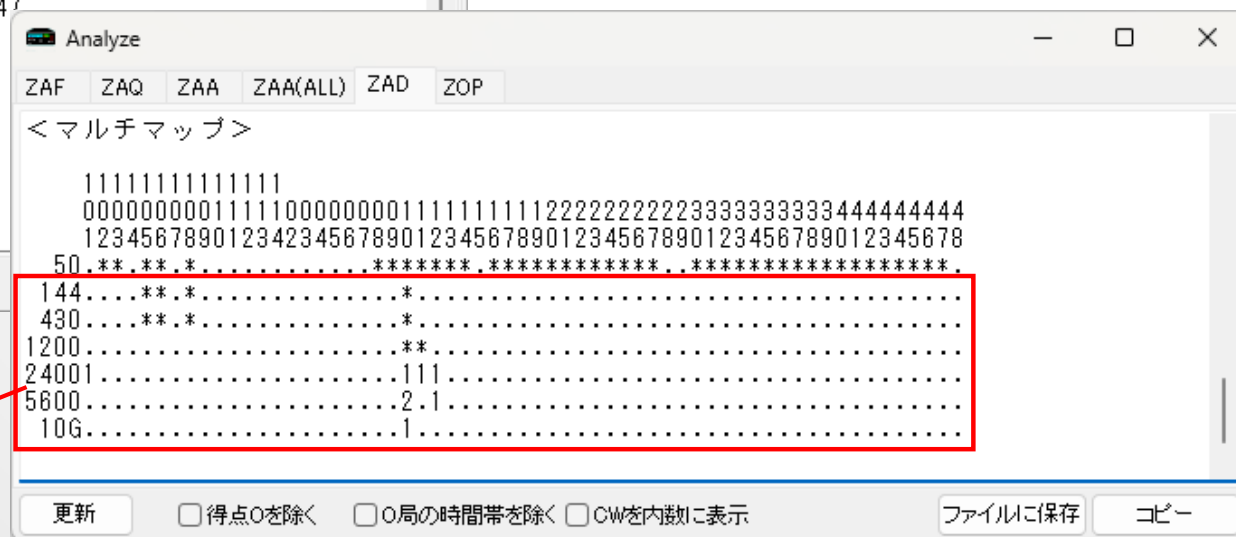
## #638

### ZADを144M以上にも対応する (2.9.1.6)

- ZADは50Mまでの対応だったものを、マルチが同じ1200Mまでの対応としました。
- 2400M以上は<とれたマルチ>のみ表示
- 2400M以上のマルチマップは県ごとのマルチ数を1-9,A-Zの35まで表示します。  
(北海道は101の欄に表示)



ここが出ていなかった



#661

IC-7760対応 (2.9.1.7)

- ハムフェア2024で発表され、即発売が始まったIC-7760対応です。

#662

## プラグインのDLLファイル名保存の改善 (2.9.1.7)

- 下記の問題があることがわかりましたので、相対パスで記録するようにしプラグインフォルダを変更しても問題無い様にしました。
  1. インストール時にDLLsに書く内容がフルパスになってしまう。
  2. DLLsの内容をロードする際はDLLsの内容でロードしている。
  3. ロード時はその時点でpath=を使って解決しているのではなくて、DLLsに書いてあるものなのでプラグインフォルダを変更すると食い違いが出る。
  4. jsonファイルに直接md5値が記述されている場合に対応。(2.9.1.8)

#663

## ALL JA0 1.8Mコンテスト対応 (2.9.1.7)

- 2024年より「ALL JA0 21/28Mコンテスト」に代わって、「ALL JA0 1.8Mコンテスト」となることになったので、対応を行いました。
- [https://jarl-nn.asama-net.com/index.php?html\\_id=00000474](https://jarl-nn.asama-net.com/index.php?html_id=00000474)
- 従来の21/28Mも残してあります。

※zLogでは1.9MHzと表記しています。



## BUG FIX

#664

SHIFT+Bでのバンド変更時に設定によっては巡回しない(2.9.1.7)

- SHIFT+Bでのバンド変更時に設定によっては巡回しない不具合を修正しました。
- 使用可能なバンドとリグの実装バンドが一致していれば良いが、不一致の場合、リグ未実装バンドへの設定コマンドが送信され、結果として巡回しない。

#665

## memo欄の入力改善(2.9.1.7)

- memo欄でスペースを入力したいとのことですので対応を行いました。

## BUG FIX

#667

### MMTTY使用時の不具合 (2.9.1.7)

レポートがあった以下の 2 件の不具合を修正しました。

- MMTTY使用後、zLogを終了するとアプリケーションエラーが発生する件の修正。
- 送信メッセージ内の\$Mが展開されない件の修正。



## #676 HAMLOG用CSV出力の改良(2.9.1.8)

- 周波数欄への出力内容を、「周波数又はバンド」又は「バンド」より選択可能としました。
- 周波数はリグコントロールを行っている場合、リグから取得した詳細な周波数です。
- バンドは7,14,21,28といったバンドを表す値です。

Export  
HAMLOG用出力設定

Remarks1の出力内容

☐ 何も出さない  
☒ 入力  
☐ Operator  
☐ Memo

Remarks2の出力内容

☐ 何も出さない  
☐ 入力  
☐ Operator  
☒ Memo

相手局の運用地コード

☒ 何も出さない  
☐ 受信ナンバー

相手局の名前・名称

☒ 何も出さない  
☐ 受信ナンバー

周波数の出力内容

☐ 周波数又はバンド  
☒ バンド

QSLマークの出力内容

設定無し(None) ☐  
PSE QSL J  
NO QSL N

交信時分の出力内容

☒ そのまま  
☐ JSTに統一  
☐ UTCに統一

☐ JARL会員情報を照会する

OK キャンセル

\$URCALL 相手コールサイン  
\$MYCALL 自分のコールサイン  
\$RSTSENT 送ったRST  
\$RSTRECV もらったRST  
\$NRSENT 送ったNR  
\$NRRECV もらったNR  
\$MEMO Memo欄の内容  
\$CTNAME コンテスト名  
\$DATE 交信日付(ex. yyyy/mm/dd)  
\$TIME 交信時刻(ex. HH:MM)  
\$FREQ 周波数(ex. 71000.0)  
\$BANDF バンドを周波数形式(ex. 7)  
\$BANDW バンドを波長形式(ex. 40m)  
\$MODE モード(ex. SSB)  
\$OP OP名

#705

CQWWにてMulti2が2倍になってしまう不具合 (2.9.1.8)

レポートがあった以下の不具合を修正しました。

- Multi2が2倍になってしまう。
- JIDXも同様。

## その他不具合修正一覧

- #600 分析画面で「CWを内数に表示」にすると桁ずれやカッコ欠落が発生(2.9.1.0)
- #620 zlog\_telnet.exeのログが改行されていない(2.9.1.4)
- #666 CW/PHツールバーの表示不具合(2.9.1.7)
- #657 コンソールコマンドでバンドを切り替えると、RIG切替信号が変化してしまう(2.9.1.8)
- #675 WinKeyerでPTT制御が効かない(2.9.1.8)
- #679 最後の周波数へジャンプ時にアンテナ切替しない(2.9.1.8)